

地域の特性生かした発展を

北部地域をまほろばの里に

三月定例会市議会に先立ち、小笠原喜郎市長は、平成三年度の施政方針を発表しました。

小集事業

年度内に完了

平成三年度は、市の将来を

展望して作成した総合計画に基づき実施計画が第二期を迎えます。

国の多極分散型国土形成の一環として、県は、県内各地域の特性を生かした発展と活性化を図っています。その一つとして南国市の

長岡を、その歴

史的資源、観光

資源、立地条件

を生かして再開

発しようとして

います。南国市

としても「まほ

ろばの里整備事

業基本計画策定

調査」の結果を

踏まえ、国分川

流域一帯の歴史

的、文化的特性

を生かし、個性

豊かな施設の整備を進めてい

きたいと考えています。

また、昨年度「南国市ふる

さとづくり基金」によって、

人材育成のための「ふるさと

見聞録」を実施しましたが、

初年度の実績を検討し、引き

続き実施していきたいと考え

ています。

高知カシオの操業を間近に

控えており、ハイテク団地の

計画内容も具体化しつつあり

ます。高速道路については、

今年中に笹ヶ峰トンネルが開

企業誘致で 財政基盤強化

湾岸戦争の終戦処理等により国の財政支援が増加すれば、当然地方財政も影響を受けると思われます。

市税等の若干の増収が期待

できますが、人件費や公債費

などの経費は年々増加の一途

をたどっており、小集落地区

改良事業、廃棄物処理施設と

し尿処理施設の建設、周辺対

策、義務教育施設の整備充実、

公共下水道事業等生活関連施

設の促進など、財政需要は確

実に増加しています。引き続

き行政改革大綱を尊重し、既

存の制度などの全面的な見直

し等、徹底した合理化に努め

るとともに、公害のないハイ

テク産業等の企業誘致に積極

的に取り組む、財政基盤の強

化を図らなければなりません。

住環境整備 5年度着手

昨年度は「後免町コミュニ

ティ住環境整備事業調査報告

書」を基に、後免町一丁目の

市街地再開発のための調査検

査

を

行

い

ま

す

。

。

。

。

。

紀貫之邸跡イメージ

紀貫之邸跡イメージ

工場建築が進んでいます。ハイテク・パーク整備計画は実施段階に入り、すでに当地進出を目指す企業約二十社が、ソフトシテイまほろば協同組合を設立し、共同研究に入っています。また、ソフトウェア技術者の育成を目的とした地域ソフトセンターの設立についても検討しています。

豊かな施設の整備を進めてきたいと考えています。また、昨年度「南国市ふるさとづくり基金」によって、人材育成のための「ふるさと見聞録」を実施しましたが、初年度の実績を検討し、引き続き実施していきたいと考えています。

高知カシオの操業を間近に控えており、ハイテク団地の計画内容も具体化しつつあります。高速道路については、今年中に笹ヶ峰トンネルが開通して、南国・高松間は一時間半の距離になり、南国・高知間は用地の買収にとりかか

るようになっていくと聞いています。昭和五十六年度から小集落地区改良事業を中心とした住環境改善に取り組み、全体で九二割の達成を見ることがで

ます。健康審査、予防接種、保健施設等の充実に努め、健康に老いる」ための努力と、年々減少している乳幼児の「健やかな成長」に寄与しなければならぬと考えています。

国民健康保険事業は、被保険者数は減少しているものの、医療費は増大の一途をたどっています。この制度は税による相互扶助共済であり、被保険者各位の理解と協力を深めることにも、滞納者対策を強化し、収納率の向上を図って

討や駅前町の区画整理調査を行いました。

今年度は、平成五年度の事業着手に向けての計画策定と駅前町区画整理事業実施のための事業計画を作成、そのための地元住民の準備組合設立を推進していきます。

十市パークタウンの下水道は、昨年四月から供用を開始しており、平成七年度には収支の均衡がとれることになって

います。

浦戸湾東部流域下水道事業に

関連する公共下水道については、

来年度、引き続き建設を促進す

るとともに、受益者負担金の決定と、住民への周知

徴収準備を進めていきます。

三和地区で ほ場整備

高知カシオ工場の建設は、当初計画通りに順調に進んでいま

す。機械金属企業のテクノ高知工業団地は、六月操業に向けて

ほ場整備が待たれる三和南部

ほ場整備が待たれる三和南部

ほ場整備が待たれる三和南部

ほ場整備が待たれる三和南部

工場建築が進んでいます。ハイテク・パーク整備計画は実施段階に入り、すでに当地進出を目指す企業約二十社が、ソフトシテイまほろば協同組合を設立し、共同研究に入っています。また、ソフトウェア技術者の育成を目的とした地域ソフトセンターの設立についても検討しています。

豊かな施設の整備を進めてきたいと考えています。また、昨年度「南国市ふるさとづくり基金」によって、人材育成のための「ふるさと見聞録」を実施しましたが、初年度の実績を検討し、引き続き実施していきたいと考えています。

高知カシオの操業を間近に控えており、ハイテク団地の計画内容も具体化しつつあります。高速道路については、今年中に笹ヶ峰トンネルが開通して、南国・高松間は一時間半の距離になり、南国・高知間は用地の買収にとりかか

るようになっていくと聞いています。昭和五十六年度から小集落地区改良事業を中心とした住環境改善に取り組み、全体で九二割の達成を見ることがで

ます。健康審査、予防接種、保健施設等の充実に努め、健康に老いる」ための努力と、年々減少している乳幼児の「健やかな成長」に寄与しなければならぬと考えています。

国民健康保険事業は、被保険者数は減少しているものの、医療費は増大の一途をたどっています。この制度は税による相互扶助共済であり、被保険者各位の理解と協力を深めることにも、滞納者対策を強化し、収納率の向上を図って

いきます。

浦戸湾東部流域下水道事業に

関連する公共下水道については、

来年度、引き続き建設を促進す

るとともに、受益者負担金の決定と、住民への周知

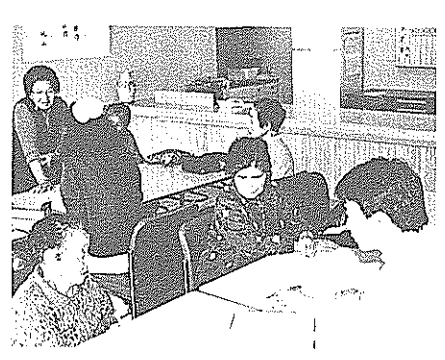
徴収準備を進めていきます。

保健施設を充実

三年度、保健センターの用地取得、造成を行い、四年度建築を検討しています。

また、寝たきり老人防止対策、痴呆性老人対策のため、民間二団体から「老人保健施設」の建設計画が示され、今年度建築、来年度開設される見込みです。これによって、入院治療ではない形の施設療

養が可能になり、寝たきり防止に格別の効果を期待してい



保健施設を充実

ます。健康審査、予防接種、保健施設等の充実に努め、健康に老いる」ための努力と、年々減少している乳幼児の「健やかな成長」に寄与しなければならぬと考えています。

国民健康保険事業は、被保険者数は減少しているものの、医療費は増大の一途をたどっています。この制度は税による相互扶助共済であり、被保険者各位の理解と協力を深めることにも、滞納者対策を強化し、収納率の向上を図って

いきます。

浦戸湾東部流域下水道事業に

関連する公共下水道については、

来年度、引き続き建設を促進す

るとともに、受益者負担金の決定と、住民への周知

徴収準備を進めていきます。

三年度、保健センターの用地取得、造成を行い、四年度建築を検討しています。

また、寝たきり老人防止対策、痴呆性老人対策のため、民間二団体から「老人保健施設」の建設計画が示され、今年度建築、来年度開設される見込みです。これによって、入院治療ではない形の施設療

養が可能になり、寝たきり防止に格別の効果を期待してい



アジア地域スポーツ交流

組みをしたと考えています。

同和問題については、同和対策審議会の答申から二十五

年を経過しましたが、なお未

解決のまま残されており、人

権尊重を基盤とする民主主義

がまだ徹底してないと考え

られます。市民一人一人がこ

の問題を正しく認識するよう

に、積極的かつ総合的な行政

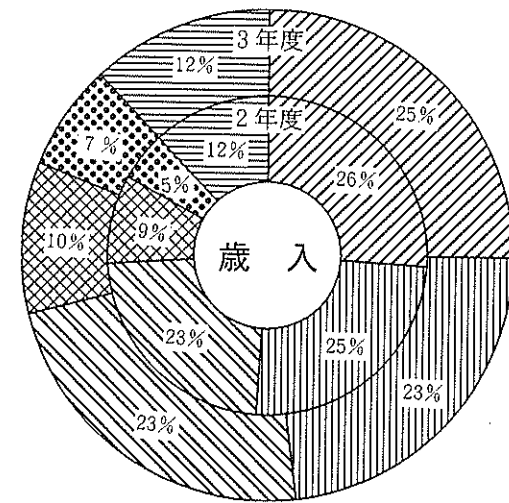
施策を推進しなければなりません。その中で教育の果たす

平成3年度一般会計当初予算

福祉の充実した都市を目指して

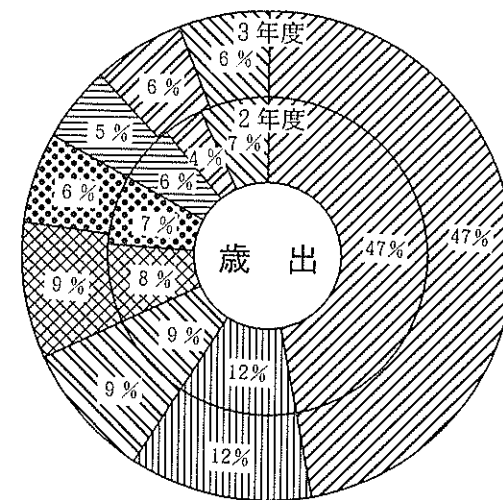
前年度比6.7%増 総額153億8,555万円

3年度歳入対前年度比



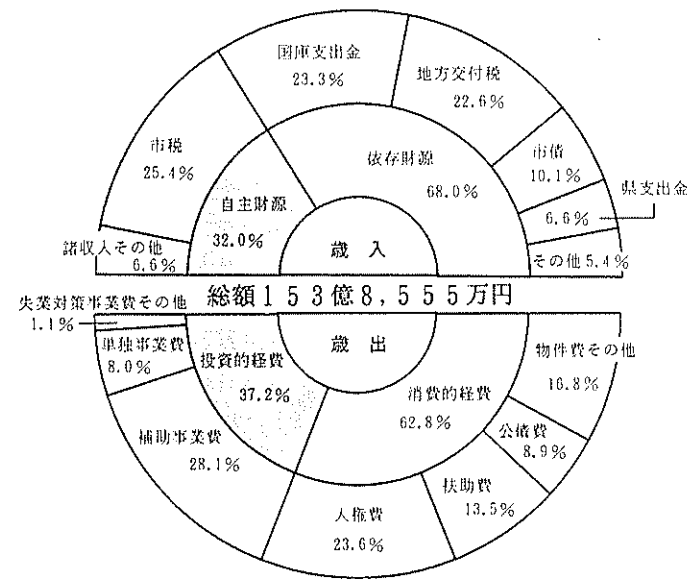
	2年度	3年度
総額	144億1,595万円	153億8,555万円
市税	37億322万円	39億167万円
国庫支出金	36億1,194万円	35億7,816万円
地方交付税	33億4,500万円	34億7,846万円
市債	13億3,470万円	15億6,030万円
県支出金	7億5,976万円	10億1,252万円
その他	16億6,133万円	18億5,444万円

3年度歳出対前年度比



	2年度	3年度
総額	144億1,595万円	153億8,555万円
民生費	67億3,157万円	72億1,625万円
教育費	18億731万円	19億1,951万円
公債費	12億4,356万円	13億6,323万円
総務費	12億2,071万円	13億3,963万円
土木費	10億4,851万円	9億3,141万円
衛生費	8億2,279万円	7億5,448万円
農林水産費	5億3,040万円	9億1,522万円
その他	10億1,110万円	9億4,582万円

歳入歳出性質別グラフ



平成3年度の一般会計当初予算がこのほど決まりました。予算総額は百五十三億八千五百五十五万円で、二年度当初予算に比べると六・七％増えています。二年度最終予算と比べると七・五％の減となっています。

額は、八十一億九千九百五十五万円で前年度比六・三％の伸び。しかし、歳入の構成比では、自主財源比率三三・二％、依存財源比率六八・八％の割合で、依然として依存財源に頼り、厳しい財政運営となっています。本年度の主な事業は次の通りです。

■**発展の基礎づくり**
道路新設改良に二億五千五百八十七万円など道路、橋梁の整備に三億二千四百九十九万円。河川改良には一億五百四十五万円。都市計画道整備には一億七千七百七十七万円を計上。総額四億四千八百二十一万円。

■**快適な生活環境都市づくり**
公共下水道事業に三億四百九十九万円など下水道整備に四億四千八百六十四万円。水道事業整備は四億五千百七十七万円。最終処分場基本計画・整備計画作成、し尿処理場新設施設調査など清掃対策整備には三億二千二百一十万円。その他、消防施設整備などに一億二千二百七十四万円を計上。総額十三億三千三百七十九万円。

■**活力ある産業都市づくり**
農林業の振興に五億六千五百八十九万円。商工業の振興には七千四百八十三万円を計上。総額六億四千七百二十二万円。

■**健康福祉都市づくり**
あけぼの保育所建設など児童福祉対策に十五億四千五百八十二万円。身体障害者福祉対策には一億八千九百四十四万円。精神薄弱者福祉対策は一億一千三百六十七万円。老人福祉対策に六億一千八百八十一万円。同和対策として三十一億二千四百四十四万円。保健衛生には一億五千八百九十九万円を計上。国保特別会計繰出は八千七百二十二万円。総額五十八億二千八百五十五万円。

■**自然と調和したまちづくり**
北部グラウンド整備などまほろばの整備として一億四千四百六十五万円。「ふるさと見聞録」補助など人材国際交流には九百十万円を計上。総額一億五千三百七十五万円。



特別会計・企業会計予算

	3年度	2年度	対前年度比
下水道事業特別会計予算	5億7,772万円	5億9,693万円	△3.2%
老人保健特別会計予算	41億1,883万円	38億6,581万円	6.5%
住宅新築資金等貸付事業特別会計予算	4億6,471万円	3億3,030万円	40.7%
国民健康保険特別会計予算	33億6,648万円	33億7,760万円	△0.3%
水道事業会計予算	9億6,129万円	7億9,782万円	20.5%